



～天童市立図書館より まいづる号に来て頂きました！～



発行

社会福祉法人 山形県玉葉会
救護施設紅花ホーム

天童市大字成生1971番地26
0237(47)0241

HP <http://gyokuyokai.or.jp>
E-mail kokahome@gyokuyokai.or.jp



しっかりと寄り添う

園長 高橋 清見

新年おめでとうございます。昨年、長期間在籍された方が亡くなられたり、他施設へ移行されたりした方が相次ぎました。施設の開設年度からの方が二名、四十五年以上の方も四名おり、その中には男女それぞれの最高齢者も含まれています。

女子の最高齢者は、入院期間が三カ月と成り、退院の見込みがなく退所の方向で話が進んでいきましたが、在籍中に亡くなられました。十八番の歌と踊りをもち、笑顔が印象的な方で、時々涙をためて「おれ、どこさもいがねな」と確認しに来るほどでしたので、紅花ホームでお見送りできてよかったです。ではないかなと思っております。

利用者が退所する時、特に長期間在籍した方については、いつも、ここでの暮らしはどうだったんだろうかと

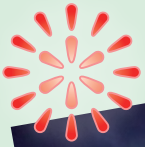
思います。ただその都度、「利用者の安寧した生活とその人らしい生き方を支援する」という法人の理念に基づき、職員が利用者一人ひとりにしっかりと寄り添って来たことで、安寧した生活だったのではないかと振り返っています。

今年、卯年です。卯は跳ねるので大きく飛躍する、生活が大きく向上する年だと言われています。いまだに続くコロナ禍での生活や利用者の高齢化、要介護化などの課題はありますが、今年はこの課題を少しでも解決し、飛躍する年にしたいと思っております。

なお、今後も職員一同、利用者の皆さん一人ひとりにしっかりと寄り添い、健康で安心して、生き生きとした生活が送れるよう努めてまいりますので、皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

季節の行事より

花火



きれいだなー

敬老会



敬老おめでとうございます

秋祭り



射的



スーパーボールすくい



くだもの拾い

縁日、レクリエーションを満喫!!



クリスマス会



紅花ホーム職員による
ハンドベルの演奏!



旅行気分を堪能



豪華な食事と
檜風呂を楽しみました



ホーム周辺きれいになりました

利用者の活動

日頃の活動より

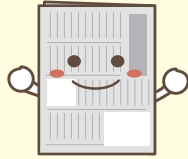
わっくわーく班



除雪



委託作業



チャレンジ班



椅子作成



はがき作成



ゆうゆう班



ぬり絵

レクリエーション講習



いきいきふれあい健康福祉祭り2022に出展しました!

◆ありがとう◆

- ＊寄付金＊
 - 中村文子様
 - ＊物品＊
 - 貫津紅花栽培組合様
 - 向原町内会様
 - 天童市更正保護女性会様
- ▽令和四年七月～十二月末現在



陸上自衛隊
第二十普通科連隊本部
管理中隊福社会一同様より
たくさんのお菓子を頂きました。

◆利用状況◆

- 定員一一五名
 - 利用者数一〇四名
- ▽令和四年十二月末日現在
- 一時入所
 - 三名 延四十一日利用
 - 体験利用
 - 利用なし
- ▽令和四年七月～十二月末現在

◆おめでとう◆

- ☆全国救護施設協議会
- 永年勤続功労者表彰
- 支援員 松田浩司
- ☆県民福祉大会会長表彰
- 一般社会福祉事業功労者
- 副総括支援員 長坂英子
- ☆山形県知事表彰
- 社会福祉功労者
- 支援業務主任 後藤香織

利用者の声から実現!

「温かい料理を食べたい」との声に応え、十月より保温食器によるご飯と汁ものを提供しています。冷めにくく、温かいまま食べることができるようになりました。今後も食事の質の向上に取り組んでいきます。



より良い施設にするために

満足度調査は、全利用者を対象にしたアンケート調査から改善を図るなど、より生活しやすい施設を目指すことを目的としています。

満足度調査結果

	満足	やや満足	やや不満	不満	回答不能
1. スケジュールについて	51	22	9	9	13
2. 居室について	45	27	12	11	9
3. 施設設備について	55	20	12	3	14
4. 余暇時間について	57	24	7	7	11
5. 買物について	60	15	11	6	12
6. 入浴について	57	14	16	7	10
7. 体調不良について	61	16	9	3	15
8. 不満や要望について	42	24	11	3	27
9. 職員について	43	16	11	7	27
10. 個別支援について	62	16	6	1	19
11. その他	51	23	11	7	12

▽令和四年十一月、一〇四名実施

次のステップに向けて
―居宅生活訓練事業―

十一月末現在、二名が訓練を行っており、うち一名が十二月中旬にグループホームへの入所が決定しました。今年度は六月にも一名がグループホームへ入所する事が出来ました。訓練者の皆さんは自己実現に向かって日々訓練に取り組んでいます。

コロナ禍という事もあり、思うように訓練ができない時期や入所希望先の見学・体験利用もできないなど、思うように進まない時もありましたが、これからも訓練者がスムーズに地域移行出来るように支援してまいります。



～アパート設備の説明を受ける訓練者～

※写真・氏名等は、ご本人の承諾を得て掲載させて頂いております。
印刷 榎大風印刷 023(686)5105